

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 1

千葉県立千葉高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

幅広く高い向学心を持ち、自主的精神とリーダー性に富む生徒で、次の全てを満たす生徒。

ア 基礎・基本を身につけ、思考力・応用力に優れていること。

イ 本校を特に強く志望すること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	字数：600字以上800字以内 検査時間：60分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値を、総合的に判定する際の参考とする。 ※（算式1） $X + \alpha - m$ X：当該志願者の調査書中の国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計値 α ：県が定める評定合計の標準値9.5 m：当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあっては，後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が60日以上の場合，審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は，審議の対象とする。
エ 上記以外の記録， 特記事項及び総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は，総合的に判定する際の参考とする。

(3) 作文〔5点満点〕

2名の評価者が，次の2つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，a（満たしている）・b（満たしていない）の2段階で評価し，2名の評価者の評価の組合せ（a a～b b）ごとに得点化する。b bの組合せの場合は，審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」及び「第2日の検査（作文）の得点」を合計した「総得点」により順位をつけ，「調査書」も含めて各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら，予定人員までを入学許可候補者として内定する。

< 総得点の満点の内訳 >

学力検査の成績	第2日の検査の得点	総得点
	作文	
500点	5点	505点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。